

新発見! 今、よみがえる 鶴丸城

鹿児島(鶴丸)城跡現地説明会

《限定公開》
石工の技と激戦の跡をめぐる

平成28年

12月3日(土)13:30~16:30

(受付13:00~15:00 見学所要時間は約90分) 雨天決行

鹿児島県歴史資料センター黎明館 玄関前集合

参加費無料
事前申込不要

※説明会に参加された方は、当日黎明館常設展を団体割引でご観覧いただけます。
※駐車場には限りがあり、混雑が予想されます。ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

主催：鹿児島県

共催：鹿児島県教育委員会

■お問い合わせ

鹿児島県 県民生活局 楼門等建設推進室

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号

TEL：099-286-2506

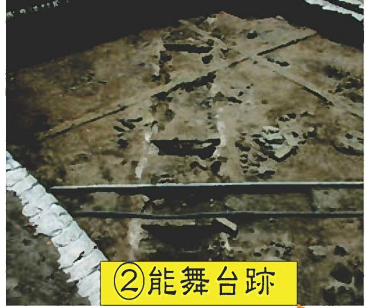
FAX：099-286-5537

鶴丸城説明会

検索

鹿児島（鶴丸）城跡遺構配置図及び見学コース

島津氏の居城である鹿児島（鶴丸）城跡は、現在、石垣修復に伴う発掘調査を実施しています。調査結果から、近世薩摩藩の政治・文化の中心地として、さらに西南戦争の激戦地としての様相が少しずつ明らかになってきました。



②能舞台跡

鹿児島城跡関係の略年表1
【～幕末】

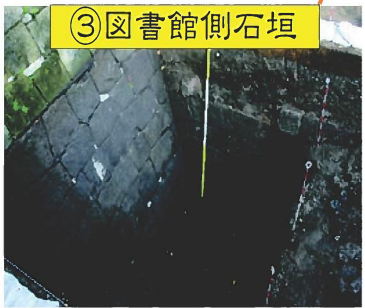
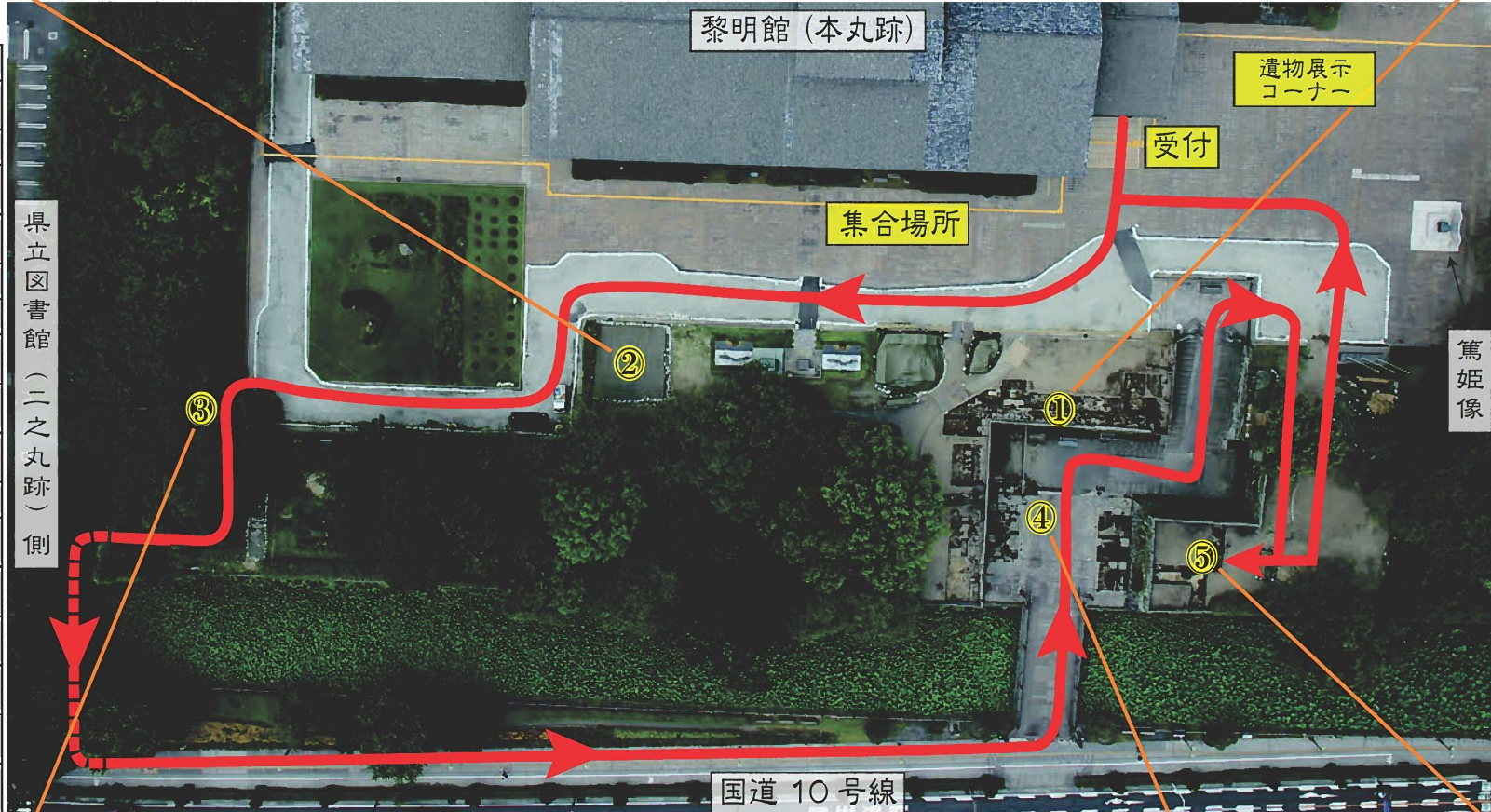
西暦	和暦	主なことから
南北朝時代		
		城山に、上山氏によって上山城が築かれる
1600	慶長5	関ヶ原の戦い
1601	慶長6	島津家久が鹿児島（鶴丸）城の築城を始める（1602年説あり）
1604	慶長9	島津家久が内城から鹿児島城に移る
1606	慶長11	居館正面板橋の渡り初め
1612	慶長17	御楼門の柱立
1639	寛永16	城内の屋敷の建て替え、石垣修復
1664	寛文4	鹿児島城南方の石垣二箇所が崩壊
1696	元禄9	鹿児島城下で大火、城内に延焼、鹿児島城本丸焼失
1707	宝永4	鹿児島城本丸再建工事終了
1773	安永2	藩校造士館・演武館が完成（現在の中央公園）
1785	天明5	島津重豪、二之丸の整備拡大を始める
1791	寛政3	二之丸の庭園を含む大工事が完了
1810	文化7	御楼門前の板橋を石橋に架け替える
1843	天保14	御楼門の建て直し（1844年説あり）
1863	文久3	薩英戦争、本丸大奥二階や御楼門に被弾



①石塁と排水溝跡

鹿児島城跡関係の略年表2
【明治～】

西暦	和暦	主なことから
1871	明治4	廃藩置県 鎮西鎮台第二分営が置かれる
1872	明治5	明治天皇行幸
1873	明治6	鹿児島城本丸が焼失
1877	明治10	西南戦争、二之丸が焼失
1884	明治17	（県立）中学校造士館設立
1901	明治34	（官立）第七高等学校造士館設立
1945	昭和20	空襲により校舎焼失、石垣一部崩壊
1952	昭和27	鹿児島大学文学部焼失
1957	昭和32	鹿児島大学医学部、鴨池より転入
1960	昭和35	石垣一部崩壊
1974	昭和49	鹿児島大学医学部、宇宿へ移転
1978	昭和53	鹿児島城跡本丸跡発掘調査（～1979まで）
1983	昭和58	鹿児島県歴史資料センター黎明館開館
1999	平成11	御角増跡発掘調査、石垣修復（～平成12年）
2015	平成27	鹿児島城跡発掘調査開始



③図書館側石垣

- ① 排水溝跡：石垣の前面と背面には、石垣に沿って排水溝が巡っていました。城の中にたまった水をいかに堀に流すか、ということにとても気を使っていたようです。
- ② 能舞台跡：能舞台の「橋掛り」跡を確認しました。「橋掛り」とは、舞台と鏡の間（楽屋）を結ぶ廊下で、今回はその床面が確認されました。音響効果を高めるために、床面は溝状で、硬い土の面の上に漆喰を敷き固めていました。
- ③ 図書館側石垣：地面より下まで石垣が続いていることがわかりました。また、県立図書館建設に伴う発掘調査で確認されていた内堀と、内堀から外堀へ流れる水の量を調節するための井堰も確認しました。
- ④ 御楼門跡：暗渠排水溝や門番が待機していた番所跡が確認され、御楼門の基礎部分がどのような構造になっていたかがわかりました。また、石垣には、西南戦争の時のものと考えられる銃弾・砲弾の痕跡が確認されました。中には、砲弾の破片が石垣にそのまま埋め込んでいるものまでありました。
- ⑤ 横矢掛り跡：武器類の保管や戦時の際に城壁の役割も果たす「兵具所（ひょうぐしょ）」跡を確認しました。兵具所跡の周りには、雨落ちと考えられる石量と排水溝が巡っていました。また、1927（昭和2）年に建てられた第七高等学校造士館時代の天文観測室跡も確認しました。



④御楼門跡



⑤横矢掛り跡